

## ★漢方談義★

## コブシ



太田 順康

◆花粉症いやですね◆

杉花粉が飛びだす前に鼻の葉が採集されているのをご存知ですか？そろそろ咲きだすコブシのことです。コブシモクレン科の落葉低木です。蕾の形から拳（コブシ）が和名の由来です。葉になるのはこの開花直前の花蕾を採取して乾燥したものです。生薬名を辛夷といいます。

漢方では九竅（人間の九つの穴で外に開いて、五臓の気が流通している場所）を通ずと言われてます。

九竅とは鼻2穴（肺）眼2穴（肝）耳2穴（腎）口1穴（脾）前陰と後陰の2穴（腎・脾胃）の九つです。特に肺の気が出入する鼻閉を通じ、鼻汁を収め、頭痛を治す働きが強い薬です。辛夷の入った薬を調剤しているだけで鼻詰りが治ることを経験しています。蕾を割って臭いを嗅ぐだけで鼻がすーっと通ります。

咲いてしまうとこの薬効が無くなる不思議な薬草です。採取する時期が最も短い薬草でもあります。辛夷の入った薬方は蓄膿症や鼻炎によく使われるものばかりです。

2番:葛根加辛夷川芎湯 首筋や後頭部が重かったりして鼻詰りがひどく、濃い鼻汁がでる時に使います。

104番:辛夷清肺湯 鼻詰りがひどく、鼻を中心に熱感があり、鼻根部や前額部、眼の下に痛みや圧痛がある時に使います。

中国の民話に秦という挙人（科挙＝官吏の登用試験に合格した人）がいました。此人が鼻の病気に罹り、嫌な臭いの鼻汁が流れ出て、あまりの臭さに妻や子供も近寄らなくなりました。あちこちの医者に掛かったけれどもなかなか治りませんついに鬱になりそうでした。良い治療を探すと気晴らしに旅に出ました。南の国の少数民族の医者が鼻を上手に治せると聞き訪れたところ、その医者は山にある花の萼を摘んで来て煎じて飲ませました。半月もしない内に臭い鼻汁が止まりすっかり良くなりました。家に帰る時の花の種を貰ってきて庭に植えて、鼻の病気で困っている人に萼を摘んで飲ませて大変喜ばれたそうです。薬の名前を聞いていなかったのが、辛亥の年に夷（えびす）からもらったので辛夷と付けたとあります。

しかし辛夷は世界一古い本草書といわれる神農本草經にも載っていますので良く出来た話ですが年代が合いません。

辛夷の夷は萸が本字で「つばな」の意味でこの木の苞が萸のような形で辛い味なので辛夷と呼ばれるようになったと云うのが本当のようです。

つづく

## 春禅洞

## すこやか教室

曜日と時間：毎週金曜日 11:00～12:00  
参加：無料  
指導：原 茉莉奈（理学療法士）

## ＜4月の予定＞

少しずつ春野菜が出来るようになりました。

この時期の野菜はあく、苦みが強いものが多いとされていますが、これは冬の間に体に溜まった毒素を体外に排出するために重要とされています。ぜひ、旬のものを食べ、この季節をすこやかに過ごしましょう。

12日(金) 26日(金)

○棒体操でストレッチ

○腰と背中での運動で腰痛予防

○頭の体操

19日(金)

・松尾池から尾根へ

## お知らせ

## § 漢方相談日

(担当 太田順康：日本漢方交流会認定漢方終身師範、岐阜県漢方研究会会長、岐阜薬科大学「漢方学」講師)  
今月の漢方相談日は、下記のとおりです。

11日(木) 15日(月) 22日(月)

## § 4月の休診日

1日(月) 4日(木) 5日(金)

よろしくお願いたします。



スモーカーライターで肺の空気を検査

☆たばこをやめて、健康を体へ